<table>
<tr><td>授業科目名：
道徳の理論・指導法
（中等）</td><td>教員の免許状取得のための必修科目</td><td>単位数：
２単位</td><td>担当教員名：飛田　仁
担当形態：単独</td></tr>
<tr><td>実務内容
（実務家教員の場合）</td><td colspan="3">「道徳の理論及び指導法」中学校教諭・指導主事としての勤務経験をもつ教員が道徳教育及び特別の教科道徳の目標・内容・指導計画の作成、特別の教科道徳の授業について指導する。</td></tr>
<tr><td>科　目</td><td colspan="3">道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目（中学校社会・保健体育・英語）</td></tr>
<tr><td>施行規則に定める
科目区分又は事項等</td><td colspan="3">道徳の理論及び指導法</td></tr>
<tr><td colspan="4">「学位授与の方針」との関係
個人や社会にとって必要な課題解決のため、自律的な課題研究能力を身に付けていること。</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業の到達目標及びテーマ
（１）「中学校学習指導要領」（平成 29 年 3 月）に示された道徳教育及び特別の教科道徳の目標・内容・指導方法等、学校における道徳教育の基礎的理論を概説できる。
（２）特別の教科道徳の学習指導案に基づいた授業が展開できる。
（３）学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育を理解し、特別の教科道徳を要とした道徳教育に取り組む意欲・態度を身に付けることができる。</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業の概要
第１回から第６回は、「中学校学習指導要領解説　総則編」（平成 29 年 7 月）に示された道徳教育及び「中学校学習指導要領解説　特別の教科道徳編」（平成 29 年 7 月））特別の教科道徳について教科書で学びます。
第７回から第１２回は、特別の教科道徳の指導についてスクーリングで学びます。
第１３回と第１４回は、「中学校学習指導要領解説　総則編」（平成 29 年 7 月）に示された学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育等について教科書で学びます。</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業計画
第１回：ガイダンス－学校における道徳教育の位置付けと特別の教科道徳の設置
「中学校学習指導要領解説　総則編」（平成 29 年 7 月）改訂の背景
第２回：学習指導要領の変遷と道徳教育
道徳の時間が設置された背景
第３回：道徳教育の目標
道徳教育の目標である道徳性の育成
第４回：道徳教育（特別の教科道徳）の内容
道徳教育（特別の教科道徳）の内容の捉え方と内容の構成
第５回：道徳教育の指導体制と全体計画
学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の全体計画
第６回：特別の教科道徳の目標と年間指導計画
特別の教科道徳の目標である道徳的判断力、心情、実践意欲と態度
第７回：特別の教科道徳の指導１　特別の教科道徳の指導
特別の教科道徳の指導の基本方針</td></tr>
</table>

第８回：特別の教科道徳の指導２　特別の教科道徳の学習指導案　前半
　　道徳学習指導案のねらいの設定
第９回：特別の教科道徳の指導３　特別の教科道徳の学習指導案　後半
　　発問を含めた学習指導過程の構想
第１０回：特別の教科道徳の指導４　道徳用教材の役割と活用
　　教材に求められる内容の観点
第１１回：特別の教科道徳の指導５　特別の教科道徳における評価
　　記述による表現することの基本的な考え方
第１２回：特別の教科道徳の指導６　特別の教科道徳の指導に対する評価
　　学習指導過程の評価の観点
第１３回：教育活動全体を通じて行う道徳教育
　　免許取得予定教科における道徳教育
第１４回：道徳教育の現状と諸課題
　　道徳教育の課題への対応
第１５回：講座内容の確認
　　定期試験
＊スクーリングでは、第９回～第１２回を実施する。

教科書
（１）文部科学省「中学校学習指導要領解説　総則編」（平成 29 年７月）東山書房
（２）文部科学省「中学校学習指導要領解説　特別の教科道徳編」（平成 29 年７月）教育出版

参考文献
　特になし

学生に対する評価
スクーリング評価（２５％）、レポート評価（２５％）、科目修得試験（５０％）を総合して評価する。